



2020年5月に開院したオギジビは5年目がスタートしました。5月号は先月号で予告しました、新しい言語聴覚士の紹介とリニューアルしたオギジビ文庫の話です！

## 自己紹介



皆様、初めまして。言語聴覚士(ST)の高橋ひなたと申します。4月に「おぎはら耳鼻咽喉科」に入職したので、すでにお会いした方もいらっしゃるかもしれませんね。初めましての方がほとんどかと思しますので、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます！

私は、四国の海の綺麗な場所で生まれ育ちました。その後、色々な経緯があり…言語聴覚士を目指し、北里大学に入学しました。(興味のある方は聞いて下さい(笑))実は大学入学当初は失語症などの発語の障害に興味があったのですが、大学2年の頃から「耳鼻咽喉科学」や「聴力検査学」といった聴覚分野の講義が始まり、この聴覚領域の奥深さや魅力に引き込まれていきました。その聴覚熱が冷めることなく、卒業研究では「補聴器の適合と満足度」について調査をし、その後大学院に進学し、佐野肇教授の下で「補聴器の両耳聴効果」について研究をしておりました。この研究では「The Speech, Spatial and Qualities of Hearing Scale (SSQ)」という音の聞き取りを総合的に評価できる質問紙を用いて、補聴器を両側難聴の方は両側に装用した方が良いのか、片側難聴の方は難聴側に装用すれば健聴時と同じような効果が得られるのかを目的に調査していました。研究活動では沢山の課題があり、大変なことも多々ありますが、その中でも研究テーマを探す楽しさや仮説を検証する面白さを感じられた2年間だったと思います。

卒業し、就職した今は、現場から先生方から患者様からたくさんの学びを得ることが楽しみです！

これからどうぞ宜しくお願いいたします。



## おでかけ



コロナが5類感染症に移行してから約1年。2020年から引きこもり生活を続けていた私ですが、感染に注意しながらも徐々に外に出るようになってきました。とはいえ、もともと出不精気味なので『今年はあるべく外に出て色々経験をしてくる』という目標をたてました。1月は水木しげる展&三浦で買い物、2月は友人と会食、3月は新宿御苑で桜鑑賞、と今のところ順調です。

そして新年度、4月です。ステファン・ハウザーというクロアチア出身のチェリストのコンサートに行ってきました。もともとは2CELLOSというチェロのデュオだったのですが、解散してしまい、今回はソロでの初来日でした。2CELLOSのことは、イタリアやクロアチアで開催されたコンサートの映像がYouTubeのオススメ動画で出てきて知りました。映像を見たのですが、会場はどちらも古代ローマ時代の円形闘技場で、屋外の開放的なコンサートでした。クラシックだけでなくマイケル・ジャクソンの楽曲やパイレーツオブカリビアン、ゴッドファーザーなどの映画音楽の演奏もありお客さんも大盛り上がりでした。「こんな歴史的建造物の中で音楽を聴けたら楽しいだろうなあ。

行ってみたい。」と書いていました。お正月にふと「来日しないのかな？」と思い検索したところ、東京でのコンサート情報を見つけチケット購入に至りました。

会場は東京国際フォーラムでした。Caruso(カンツオーネ)やShape Of My Heart(レオンの主題歌)はしっかりと聞かせ、Livin' la Vida Locaなどラテン系の曲では観客を巻き込み、あっという間の2時間でした。撮影用カメラも入っていたので、そのうちYouTubeにアップされるのでしょうか。



↑ プロ用機材でなければ、撮影可でした

ちなみに、You Tubeで見たイタリアのコンサート会場のアリーナ ディ ヴェローナ (arena de Verona)は、2026年の冬季オリンピックの閉会式会場だそうです。

## オギジビ文庫

オギジビ文庫の蔵書は開院時に絵本マスターが選書してくれたものです。毎月、蔵書の中からマスターがテーマに沿った絵本を「今月のおすすめ絵本」として2冊選んでくれています。今年のテーマは「記念日・行事」です。ちなみに昨年度は「読書感想文にもオススメ！小学生の君たちへ」「昔話・民話」「説明がなかったら買う勇気の出ない絵本」でした。「今月のおすすめ絵本」は本棚の正面の一番目立つところに置いてあります。おすすめ絵本と一緒に展示しているのは、2024年度の月刊絵本「こどものとも 年中向き」と「たくさんのふしぎ」です。絵本の前に貼ってあるポップはこれまでは絵本マスターが作品の裏話、作者の情報など、興味深いお話を書いてくださっていました。そのポップが今年度からリニューアルしました。私が書いた「感想」にマスターが「情報」を加えてくれています！ぜひ絵本とともにポップもお読みいただきたいと思います。

写真は4月のオギジビ文庫です。「今月のおすすめ絵本」は「ぐるんぱのようちえん」と「どろんこハリー」でした。4月、入園・入学ということで「ぐるんぱのようちえん」、高知市長浜の若宮八幡宮で4月上旬に開かれるどろんこ祭りにちなんで「どろんこハリー」が選ばれました。今年度、どんな絵本が紹介されるのか、楽しみです。

**2024**  
こどものとも 年中向き

4 お迎えに来てくれるお父さんとお母さんの姿を自慢し合うふたり。最初の方のエピソードは「あるかもしれない」と思えることでした。その後ふたりの自慢話は、ちょっと誇張し過ぎかな？というものから、それは願望だねってところまでどんどんスケールが大きくなっていきます。そんなお父さんとお母さんに会ってみたい！子どもの想像力がすごい！と思いました。

ST井上

年中さんと言うと、経験も増えて生活範囲も広がって、イメージの世界もぐっと広がる時期。罪のない豪快で楽しいホラ話が好きです。気づいたでしょうか？裏表紙の帰路の様子には、現実世界のはずなのに、アレがこっそり描かれています！



1970年代の輪島の朝市を描いた絵本です。寒い冬の朝、海のものや畑のものを売り買いする人々の交流が、人々の語りを通して描かれています。

令和6年能登半島地震で被害を受けた被災地の復興を願い復刊されました。売上の利益相当額が能登半島地震災害義援金として寄付されるそうです。



大人気の『サンドイッチサンドイッチ』4代目になりました！

5月は新緑の季節。虫たちも活動を始めます。オギジビ文庫には「チョッキリ」が現れます。お楽しみください。

リニューアルしたポップ。マスターが私の似顔絵も用意してくれました



おぎはら耳鼻咽喉科